



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 http://www.JMMPA.jp/

2019 3 月号  
Vol.97

毎月1回発行(通巻97号)

編集:日本医療企画

## 2019年「新春講演会」&「新春の集い」を盛大に開催

# 日本女医会会长の前田佳子氏が講演! 女性医師の視点から働き方改革の本質を説く



[右]「新春講演会」の冒頭であいさつに立った吉原健二代表理事  
[左]医師の勤務状況と働き方改革について話す前田佳子氏

冒頭、あいさつに立った吉原健二代表理事は、平成の医療を振り返ったうえで、これから30年はどうなるかと提起。「最も心配なのは生産年齢人口の激減である減少であり、生産性の向上が急務。医療の質を下げずに生産性を高めていくことが、これから医療経営者が期待している仕事で

【第1部・新春講演会】  
吉原健二代表理事が登壇  
ポスト平成の医療を展望

あり、自覚と誇りを持って取り組んでほしい」とエールを送った(3面に全文掲載)。

医師の働き方改革には  
トップの意識改革が不可欠

続いて、公益社団法人日本女医会会长の前田佳子氏が「女性医師が考える『働き方改革とこれからの地域医療』」と題して講演した。

日本における女性医師の歴史を紹介したあと、医師の働き方改革について言及した。前田氏は医師の勤務状況について「女性医師が子育てをしながら働くのは厳しく、就業率の推移はM字カーブになっている。キャリア中断の理由は出産70%、子育て40%で、復職をしたとしても元の職場に戻るケースは少なく、雇用形態もパートなどが増える」と分析。日本と諸外国の医師に対する労働時間規制や女性医師の割合の違いについても触れながら、状況改

善の必要性を訴えた。  
さらに、女性医師のキャリア継続、休職後の復職支援を目的として2007年から09年に実施された九州大学病院での「女性医療きらめきプロジェクト」の事例を紹介(同プロジェクトは10年から男性も含めた医師全体を対象として、「九州大学病院きらめきプロジェクト」に発展)。「医師のキャリア継続、復職支援には、トップの意識改革が最も重要となっている」と強調した。

【第2部・新春の集い】

決意新たに目標を掲げる

第2部「新春の集い」では、小林利彦代表理事代行による主催者あいさつに続いて、関東支部支部長の安藤高夫氏が登壇。「医療機関を取り巻く環境が複雑化するなか、理事長や院長が経営の舵取りを行うのは難しい。医療経営士の活躍の



医師の働き方改革というテーマへの関心は高く、参加者は熱心に耳を傾けた

一日・短時間で実践力が身につく!  
一般社団法人日本医療経営実践協会認定

## 医療経営士 実践研究講座

- 認定 一般社団法人日本医療経営実践協会
- 主催・運営 ヘルスケア経営学院
- 会場 ニッテン神田ビル3Fセミナールーム(東京都千代田区神田東松下町17)
- 定員 各講座35名
- 募集受付 2019年4月より開始(予定)

■入学金・受講料(税込)

「一日 特訓講座」(5~8時間程度、昼食付)	
入学金	医療経営士:無料/一般:1万円(2019年9月までは無料)
受講料	医療経営士:4万円/一般:5万円

※「一日 特訓講座」の受講者には修了証を発行します ※割引制度有

「短時間 集中講座」(2~4時間程度)

入学金	なし
受講料	医療経営士:1万5,000円/一般:2万円